

クローザ類 ①ドアクローザ

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章8節に規定する建具用金物のうちのドアクローザとする。

2. 品質・性能等

- (1) 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- (2) 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- (3) 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

3. 名簿の「詳細事項」に関する注意事項

- (1) 材料の閉じ力による区分、取り付け方法及びストップ装置の有無による区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。
- (2) 「取り付け方法及びストップ装置の有無による区分」は、該当する製品名を示してしている。

項目			品質・性能				備考					
材料	見え掛け部の材質	本体	アルミニウム合金製									
		アーム部	鋼製（焼付け塗装）									
初期能 能 値	閉じ力および効率による区分		Grade1	Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)					
				1	9以上	45以上						
				2	13以上	50以上						
				3	18以上	55以上						
				4	26以上	60以上						
				5	37以上							
			Grade2	6	54以上	65以上						
				1	5以上	30以上						
				2	10以上							
				3	15以上	35以上						
				4	25以上	40以上						
				5	35以上	45以上						
				6	45以上							
			注1)パラレル取付けは、上記の閉じモーメントの70%程度までとする。 2)コンシールド型は、上記の閉じモーメントの50%程度までとする。									
	閉じ速度 (秒)	常温(5~35°C)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。										
	温度依存性 (緩衝油の流動点) (°C)	-15以下										
	ストップ力 (N・m) (機能を有する機種のみ)	入力: 60以下 (ただし、コンシールド型は200N・m以下) 解除力: 8以上										
	バックチェック機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	ドア開扉方向に荷重60N/m ² を、開扉50°から負荷すること。 バックチェック開始角度(70~85°)から、さらに20°まで開く間の時間は、0.8秒以上とすること。										
	ディレードアクション機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保できること。また、その時間の調整が可能であること。 ディレードアクション解除角度(60~75°)										

項目		品質・性能	備考
性能（続き）	繰返し開閉後の 閉じモーメント (N・m) (Grade1・Grade2 とも)	耐久試験後も、初期値の性能を満足すること。	
	繰返し開閉後の 効率 (%) (Grade1・Grade2 とも)	同 上	
	繰返し開閉後の 閉じ速度 (秒)	同 上	
	繰返し開閉後の バックチェック機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	同 上	
	繰返し開閉後の ディレードアクション機能 (秒) (機能を有する機種のみ)	同 上	
外観および機能	製品および付属品の形状	全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずる ような欠陥がないこと。	
	機能	ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節 ができること。	
	ストップ装置の機能	ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップ がかけられること、また外せるものとすること。	
	取付け部品	必要な取付け部品が付属していること。	
試験方法	1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3 の「5. 試験の一般条件」、「6.1 試験の概要」および「6.2 試験装置」による。 2. 閉じ速度試験、ストップ力試験、バックチェック機能試験およびディレードアクション機能試験は、JIS A 1510-3 の「6.3.2 ドアクローザの開閉試験」による。 3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269 による。 4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3 の「6.3.2 ドアクローザの開閉試験」による。なお、繰返し開閉回数は、Grade1 は 50 万回、Grade2 は 20 万回とする。 5. 試験体は、申請品のうち、パラレル型（汎用品）とし、当協会と協議のうえ選定する。 6. バックチェック機能およびディレードアクション機能は、別途の試験体で各々の試験を行う。 7. 試験ドアの質量は、1 番手は 25kg、2 番手は 40kg、3 番手は 60kg、4 番手は 80kg、5 番手は 100kg、6 番手は 120kg とす る。		